



名鍍会5月度の例会は、ボイラメーカーの三浦工業株式会社様にご講演いただきました。

テーマは、「新型イオン交換式純水装置」と「工場診断から省エネ設備ご提案」の2本立てでお話いただきました。

1本目の「純水装置」は、新しい2床式のタイプで、従来よりも再生時間が短く、薬品の使用量を削減できる純水装置という事でご紹介いただきました。

2本目の「工場診断」の方では、この5年程でA重油及び原油価格は4割程上昇し、電力のコストも上がっている中で、めっき工場における電力・熱源等のエネルギー消費の割合を削減するために、省エネ対策が必要となります。専門のボイラでの省エネ診断としては、①ボイラの管理日誌を借りてデータを解析する『日誌分析』②短時間の蒸気使用量を実測して検証する『負荷分析』③更新設備の負荷追従性を事前に確認する『シミュレーション』④お客様の工場に直接伺い、省エネ問題を個別に検討する『工場診断』の4つのステップがあります。また、工場診断ではバルブの保温による燃料削減のメリットや、スチームトラップの点検等によりメンテナンス及び効率化できる良い機会かと思えます。

ボイラ以外の省エネ設備として、空気圧縮熱の回収ができるコンプレッサーもご紹介いただきました。通常のコンプレッサーは、圧縮する過程で熱が発生し、この熱を廃棄する事になりますが、この圧縮熱を温水として回収ができるコンプレッサーです。

また、省エネ関連の補助金もいくつか有り、補助を利用して省エネ対策の設備の導入を考えれば、コスト的なメリットが有るかと思えます。

三浦工業といえばボイラメーカーとして有名ですが、純水装置、コンプレッサー等省エネ製品をトータル的に提案できるというお話でした。

